

令和2年度  
動物実験等に関する自己点検・評価報告書

倉敷芸術科学大学

令和3年5月

## I. 規程及び体制等の整備状況

### 1. 機関内規程

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 倉敷芸術科学大学動物実験規程（平成24年4月1日制定）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合する機関内規程が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

### 2. 動物実験委員会

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 倉敷芸術科学大学動物実験委員会規程（平成18年4月1日制定）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会が適正に組織され運営されている。 動物実験委員会の構成：教授4名、准教授4名、講師1名、助教1名
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

### 3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 倉敷芸術科学大学動物実験規程（平成24年4月1日制定）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 規程により動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

#### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 倉敷芸術科学大学遺伝子組換え実験及び病原体等の取扱い安全管理規程 (平成30年4月1日制定)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 規程により遺伝子組換え動物実験の実施体制が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

#### 5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 倉敷芸術科学大学動物実験規程 (平成24年4月1日制定)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 規程により飼養保管施設が定められ、管理者及び実験動物管理者が置かれている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

#### 6. その他

(動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

特になし
------

## II. 実施状況

### 1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 倉敷芸術科学大学動物実験規程 倉敷芸術科学大学動物実験委員会規程 動物実験委員会名簿 動物実験計画書 動物実験計画変更届 動物実験完了報告書 動物実験中止報告書 動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 規程により動物実験計画の審査や動物実験結果の審議を行っている。 動物実験委員会開催回数 19回
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

### 2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 倉敷芸術科学大学動物実験規程 動物実験計画書 動物実験計画変更届 動物実験完了報告書 動物実験中止報告書 動物実験自己点検報告書 (動物実験実施) 動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 令和2年度動物実験計画書の審査件数 22件 (内 実施22件 中止0件)

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

倉敷芸術科学大学遺伝子組換え実験安全管理規程  
遺伝子組換え実験委員会名簿  
遺伝子組換え実験計画書  
遺伝子組換え実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

令和2年度遺伝子組換え実験計画書の審査件数 1件  
(この内動物実験にも該当するものは、1件)

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験完了報告書  
自己点検報告書 (飼養保管施設)

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

飼養保管が手順書等に基づき適正に実施されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

該当なし

## 5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 自己点検報告書 (飼養保管施設) 動物実験施設・飼養保管施設申請書 動物実験委員会 動物実験施設・実験動物飼養保管施設 調査票
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 飼養保管施設は、適正に維持管理が実施されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

## 6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験従事者登録申請書 令和2年度教育訓練資料 令和2年度シラバス (生命科学部学生については専門基礎科目、専門科目において学ぶ内容が教育訓練となる)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。(令和2年度 教育訓練実施回数 2回)
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

## 7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 自己点検報告書 (動物実験実施) 自己点検報告書 (飼養保管施設) 倉敷芸術科学大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 平成23年度より自己点検・評価を実施し、その結果をホームページ上で公表している。 平成26年度分より、動物実験実施件数、動物実験毎の苦痛カテゴリー、動物実験飼養保管施設又は実験室の数、動物実験実施者/実験動物飼養保管者数、動物実験委員会活動実績の5項目についてホームページ上で公表している。 平成27年度分より、動物実験委員会委員名簿、及び平成28年度に受けた「動物実験に関する外部検証」において指摘された情報公開不足項目3点 (飼養動物種及び動物数・飼養保管施設の総数及び名称・教育訓練の参加者数) を、ホームページ上で追加公表している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当なし

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

令和2年度 咬傷事故件数 4件 (実験中3件、飼養保管中1件)